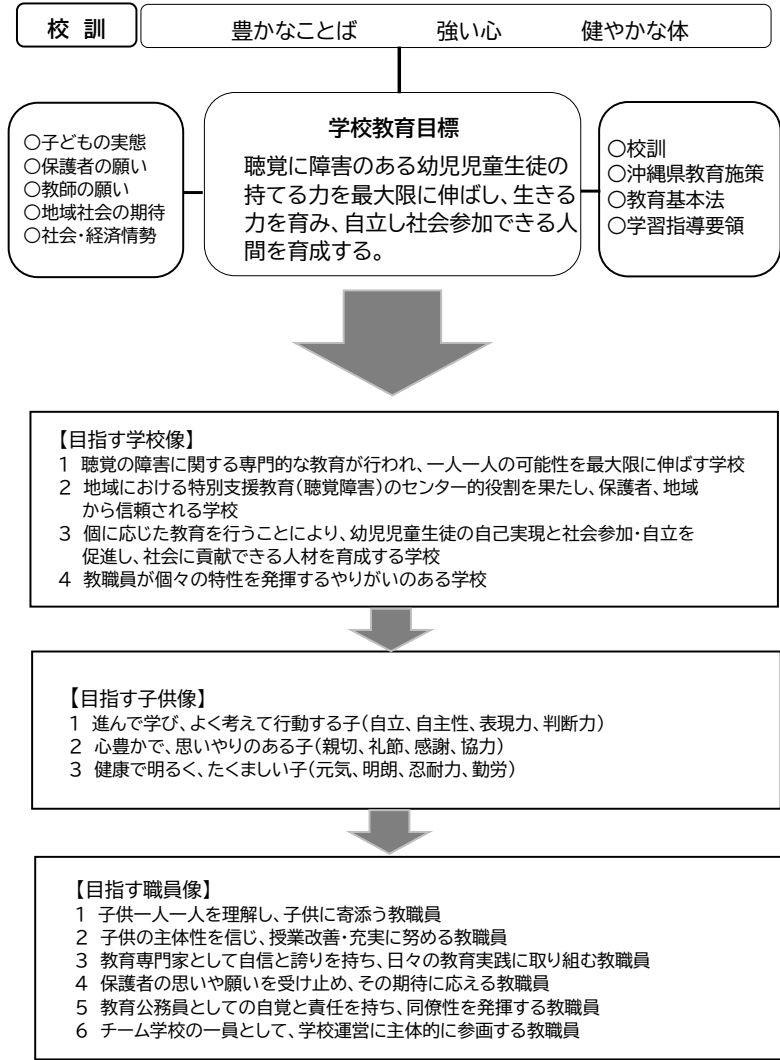


令和6年度



沖縄県立 沖縄ろう学校 グランドデザイン



重点目標

- 一人一人の社会的・生活的・職業的自立に向けて必要な日本語力やコミュニケーション力、「生きる力」の基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」を実践する。
- 職員一人一人が、聴覚障害教育の専門性を高め、幼児児童生徒一人一人を大切に豊かな人間性を育む教育活動を行うとともに、県に1校の聴覚障害教育のセンター校としての役割を発揮する。
- 教職員がチーム学校の一員としての自覚と誇りを持ち、幼児児童生徒が安全・安心な学校生活を送るための体制を整え、教職員が働きやすい学校づくりをする。

具体的方針

- 学習指導要領の主旨に沿った教育課程の改善・充実に図り、幼・小・中・高等部が連携した系統性・一貫性のある教育課程の編成を図り、主体的対話的な学びのある授業改善を行う
- 国語、自立活動を中心に、各教科、領域等学校の教育活動全体で、幼児児童生徒の日本語力を高める指導を行う。
- 手話やICT機器の活用等、多様な視覚的情報保障を充実した「わかる授業」を行う。
- 学校での教育活動や学校間、居住地校交流等、多様な場での交流および共同学習や就業体験等を通して、自己理解及び他者理解を促し、人間関係形成能力の発達を目指すと共に社会で生きていく力の育成を図る。
- 異年齢での集団生活を通して、相互の関係や規律を理解する豊かな心を育む指導の充実に図る。
- 健康でたくましい体づくりを目指すため、自ら体力づくりに励む態度を養う。
- 生活的・社会的・職業的自立に必要な生活習慣やマナー(身辺整理や清潔な身なり、時間励行、報・連・相)などの習慣習得をめざす寄宿舎
- 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の活用を図り、聴覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づく教育実践を行う。
- 保護者・地域・関係諸機関との連携を密にして、乳幼児期からの早期教育及び一貫教育の充実に図る。
- 手話言語条例の施行に伴い、手話に関する知識と技能の向上に努める。
- 保護者と協働した持続可能なPTA活動を行う。
- 校内の支援体制を充実させると共に、保護者や地域、関連機関と連携して地域のセンター的役割を遂行する。
- 体験授業やオンライン授業、教育相談、通級指導教室を充実して、聴覚障害のある幼児児童生徒の指導・支援を行う。
- 各広報誌やホームページを活用して、地域や社会に対して学校の教育活動の理解啓発を積極的に行う。
- 幼児児童生徒の安全・安心な教育活動のため、安全教育の推進と安全管理の徹底を図る。
- 職員一人一人が人権意識の高揚を図り、幼児児童生徒、教職員が自他を大切に、話しやすい、相談しやすい環境にする。
- 三師やスクールバス、給食関係者との連携を、感染症防止対策を含めた安全教育の推進と安全管理を徹底する。
- はなさき支援学校と連携した避難訓練や幼児児童生徒の緊急時対応マニュアル作成等、安全部を中心に危機管理徹底する。
- 学校予算の適正・効率的な執行と私費会計事務の適性・透明化を図る。
- 幼児児童生徒の情操を育てる自然豊かな校内緑化等の環境整備の長期的なビジョン策定と実施に取り組む。
- チーム学校として協働する人間関係づくりを進め、規律遵守およびメンタルヘルスの安定を図る。
- 毎月1回ノー会議デー、定時退勤デーを設定し、ワークライフバランスを意識した業務の効率化を進める。